

# 第Ⅰ章 はじめに

本報告書は、三瓶小豆原埋没林を中心とした三瓶埋没林に関する平成11年度までの調査結果を中間報告書の形でとりまとめたものである。三瓶小豆原埋没林に関する調査は、平成10年11月に行った予備調査、平成11年1月から3月にかけて行った緊急調査、平成11年度に行った第1次学術調査の3段階の調査を行ってきた。本報告書では、平成11年度事業として行った第1次学術調査（一部繰り越し調査を含む）段階までの調査結果を一括して報告するものである。また、埋没林発見に至った経緯やその後の展開、全国の埋没林の状況、三瓶小豆原埋没林以外の三瓶火山に起因する埋没林などについてもふれることとした。

さらに、学術調査のうち大学や各種研究機関等と相互協力を行いながら進める「共同調査」と位置づけた調査結果についても、その概要を報告してもらうこととした。この「共同調査」は、県と各種機関または個人が相互の信頼関係に基づき、それぞれが分担すべき分野をあらかじめ定め、効率的かつ効果的な調査を行うもので、多くの場合県が資試料の提供や現地調査における便宜供与を行い、研究者は提供を受けた資試料等をもとに研究成果を出し、その成果を共有する形を取った。

以上の研究成果の他、今後の研究の方向性や位置づけ、その意義等についてもできる限りふれることとし、三瓶埋没林の形成過程究明に不可欠な三瓶火山の活動史を明らかにするため、三瓶火山の研究史についても特別に寄稿をお願いした。

なお、本報告書では、三瓶火山に起因する埋没林を総称して「三瓶埋没林」と呼び、大田市三瓶町多根小豆原地区の埋没林を「三瓶小豆原埋没林」と呼ぶこととした。また、その他の埋没林についてもそれぞれ名称をつけて呼ぶこととした。また、後述する埋没林の定義に従い「埋没林」と「埋没木地」とを使い分けることとした。

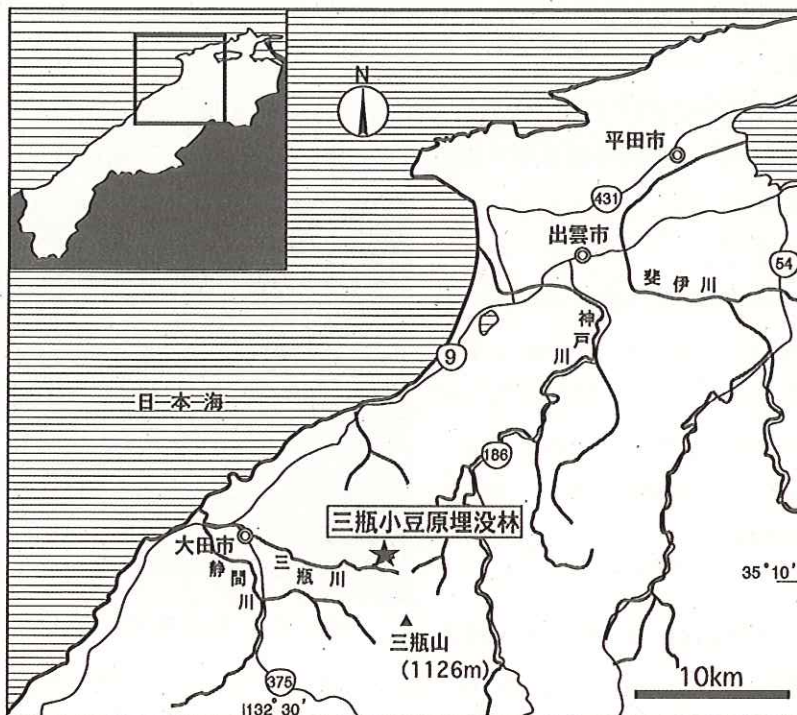


図1-1 三瓶小豆原埋没林の位置